

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	○虐待の防止の徹底 ・不適切ケアのアンケートを取れば意見が出てくるが、その場で声が上がらない現状がある。 ・馴れ合い、遠慮、無自覚といった現状がある。	・不適切ケアに気付く感覚を身に付ける。 ・お互いに見守り合い、声を掛け合えるようになる。	・日頃から、スタッフ同士コミュニケーションを大切にし、何でも話しやすい関係作りに努める。 ・言動や、関わり方に対して、客観的な視点で見る習慣を持つ。毎月のミーティング時に振り返り、気付きの場を設ける。	12ヶ月
2	48	○役割、楽しみごとの支援 ・趣味や好きな事で充実した生活を送れている人もいれば、そうでない人もいる。 ・必要なケアを優先する結果、スタッフの働きかけ、寄り添い時間の確保が難しい。	・自由参加の、色々な活動プログラムを展開・継続する。 ・利用者さまとしっかりと関われる時間を作り、楽しい時間を共有する。	・各ユニット、スタッフ一人ずつの担当制で月に1回 活動の日を作り、実施する。 例)○○の会、○○倶楽部、○○の日 ・活動の日は入浴や買い物に配慮し、時間をしっかりと作る。	12ヶ月
3	4	○運営推進会議を活かした取り組み ・現状、議事録送付は行政のみで、家族への周知方法がホーム内掲示(ファイル)という形となっている。家族がファイルを手にする機会がほとんどなく、ホームの取り組みや様子がお伝え出来ていない。	・家族へ運営推進会議の議事録を通し、ホームの取り組みや入居者様の日頃の様子をお伝える。	・ホーム内掲示も継続しつつ、全家族への議事録送付を行う。	1か月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。